



51

すいろ せせらぎ水路

和歌山県粉河町大字松井

粉河町は、和歌山県の北部、紀の川流域の中間に位置する。古くは那賀の郷、鎌垣荘の名のもとに繁栄し、大陸文化の主要通路として、鎌垣船を建造し航行して、大和朝の成立、飛鳥奈良文化の形成に貢献した街である。〔文化・観光〕粉河寺、長田観音、鞆淵八幡神社、竜門山、粉河祭り（7月下旬）

粉河町は、西国三番札所で有名な粉河寺を中心に栄えている。町には平野部が少ないことから、町を貫流する紀ノ川の河川空間を利用し、町民広場、町民運動場、河南緑地、ゲートホール場などを整備してきた。そして、親水護岸「せせらぎ水路」が完成した。公園は、紀ノ川の清流をながめながら、天然石、擬木を配したせせらぎ水路を散策できるよう、護岸の勾配にも配慮がなされている。

今後は、せせらぎ水路の一部を活用し、ホテルの舞い飛ぶ水辺をつくろうと、町民一体となって維持管理を行っていくことになっている。

